番号	キーワード	テーマ	講義者	学科及び職階	内容
V-1	人間と文化	漢字のルーツと魅力	王　少鋒	共通教育機構／人間科学教育研究センター　准教授	漢字は最も古い文字であり、基本的構造はまったく　変化しないままに三千年以上たった現在も使われている世界で唯一の文字である。また漢字は世界中で最も使用者の多い文字の一種でもある。漢字は国際文字として中国、朝鮮半島、日本、ベトナムなどの幅広い地域で使われてきた。こうした漢字文化圏においては、長い間同じ漢字を共有してきたために、国民は類似の感性と発想を持ち、漢字から生まれた文化の共通点も多くある。この講義では、古代象形文字の鑑賞を通して漢字の作られ方を勉強し、表意文字の魅力に触れて漢字のこころを訪ねてみたい。
V-2	人間と文化	メンタル・トレーニング	金田　啓稔	共通教育機構／人間科学教育研究センター　教授	競技スポーツの世界では、心・技・体のそれぞれがピークパフォーマンスを発揮するために重要であることは一般的に知られています。近年では心に対するトレーニング技術開発が進み、練習に取り入れる選手も増えてきました。メンタルトレーニングの効果についてマスコミなどで取り上げられますが、危険性について話を聞くことは少ないと思います。そこで、メンタルトレーニングの危険性と考え方について講義します。
V-3	人間と文化	科学と人間と戦争と	松村　一徳	共通教育機構／人間科学教育研究センター　特任講師	なぜ人間は戦争を選んでしまうのでしょうか。いまウクライナで起きている戦争をはじめ、世界中で戦火が絶えないのはなぜでしょうか。そして、人間が戦争を起こさずに済むにはどうすればいいのでしょうか。その一つのカギが、「科学とは何か」にあります。大学で「科学」を志す若い皆さんにぜひ探究して欲しいテーマです。科学と人間の望ましいあり方を考えましょう。哲学的な内容が中心になりますが、平易な言葉で分かりやすく解説します。
V-4	人間と文化	日本語の不思議	松村　一徳	共通教育機構／人間科学教育研究センター　特任講師	「比叡山」を「ひえいやま」と呼ばないのはなぜでしょうか。「食べれる」という言い方は誤りなのでしょうか。我々が普段、特に気にすることなく使っている日本語という言葉は、よくよく考えると不思議なことがいっぱいです。いつも勉強している国語とはちょっと違った日本語の不思議な世界をご紹介します。
V-5	人間と文化	書の文化と芸術	藤川　智彦	健康情報学部／医療工学専攻　教授	日本のひらがなやカタカナは漢字から派生しています。日本の文字は中国の文字が起源となりますが、美しい書は歴史を超えて評価されています。美しい書は芸術とされ、近年の書は白と黒の芸術に進化しています。ここでは、日本の文字の歴史と書の芸術について紹介します。